

茨城県立こども病院を受診された方へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	超早産児の在胎週数が抜管時期に及ぼす影響
当院の研究責任者	新生児科 星野雄介
他研究機関および各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	<p>超早産児の赤ちゃんはチューブを挿入して人工呼吸器を使用する事が多いです。しかし人工呼吸器を使用する事も肺炎や気胸など様々な合併症を伴うため、適切な時期にチューブを外すことも必要です。しかしチューブを外す時期に関しては標準化された目安はありません。</p> <p>私たちは赤ちゃんの在胎週数がチューブを外す時期の目安になると考え、これまでの記録を振り返り関連があるか検討しようと考えています。</p>
該当期間・対象者	該当期間：2010年1月から2019年12月 対象者：在胎28週未満で出生した早産児
研究の方法	診療録を用いた後方指摘研究
他機関への情報提供	なし
個人情報の取り扱い	研究成果は医学の発展ために会や術論文で表させていただくことがありますが、患者さまに係る個人情報はすべて匿名化して解析されますので、個人が特定されることはありません。
利益相反	申告すべき利益相反はありません
問い合わせ先	茨城県立こども病院 新生児科 星野雄介 電話（代表）：029-254-1151
備考	